

地域気候変動適応計画策定マニュアルに 沿った計画素案作成

(テーマに即したタイトル)

例: 地域気候変動適応計画策定に向けたWS

ワークショップの目的

計画策定の流れのイメージをつかむ 等

XXX

ワークショップのゴール

- ◆他の自治体と意見交換しながら策定の手順を体験することで、計画策定への意欲が高まる 等
- ◆XXX

地域気候変動適応計画策定マニュアル

地域気候変動適応計画策定マニュアル
－手順編－

策定の標準的な手順に沿って
情報収集の方法や記載内容に
ついて解説

令和 5 年 3 月
環境省

ワークショップで実施する部分

【STEP1】計画策定／変更に向けた準備

【STEP2】これまでの気候変動影響の整理

【STEP3】将来の気候変動影響の整理

【STEP4】影響評価の実施

【STEP5】既存施策の気候変動影響への対応力の整理

【STEP6】適応策の検討

【STEP7】適応策のとりまとめと地域気候変動適応計画の策定

【STEP8】地域気候変動適応計画の進捗状況の確認

ワークショップのながれ

1. 自己紹介、発表者とコメント担当決定 (10分)
2. 課題①：地域で気になる気象現象を出し合う (10分)
3. 課題②：①の現象による影響を出し合う (25分)
4. 課題③：②の影響の重大性と緊急性を整理する (10分)
5. 課題④：③で整理した影響について施策を考える (20分)
6. 全体に向けて発表 (15分)

計 90分

ワークショップのルール

- ・他人の意見を否定しない。どの意見にも価値がある。
- ・発言時間は1分以内が目安。皆さんに発言の機会を。

突拍子もない意見が革新を生み出すこと
もあるため自由な発想で進めましょう。

自己紹介（10分間）

- 下記の事柄について自己紹介（2分程度/人）
 - 名前
 - 自治体名と担当課
 - 趣味・最近あったいいこと
 - 本日の意気込み
- 発表者と感想を述べる人を各 1 名決める
 - **発表者**：グループの意見を最後に発表する。
 - **感想を述べる人**：隣のグループの発表に対する感想を述べる。

課題① (10分間)

自分の地域で気になる気象現象を出し合う

- 各自ピンクの付箋に記入 (3分)
- 付箋を貼りながら一人ずつ発表 (7分)

<気になる気象現象>

気象現象の例

- ✓豪雨の発生
- ✓夏日の増加
- ✓降雪量の減少 など

大雨の増加

課題② (25分間)

課題①の気象現象によって、どのような影響があるか、想定されるかを出し合う

- 各自きいろの付箋に記入 (10分)
- 付箋を貼りながら一人ずつ発表 (10分)
- 出された影響について意見交換 (5分)

影響を考えるヒント

- ✓ 食生活
- ✓ 生活用水、農業用水
- ✓ 自然災害
- ✓ 身の回りのいきもの
- ✓ 熱中症、感染症
- ✓ 地域の産業、観光
- ✓ 一市民としてのくらし、レジャー

<気になる気象現象>

大雨の増加
による洪水

<気になる影響>

洪水がさら
に頻発

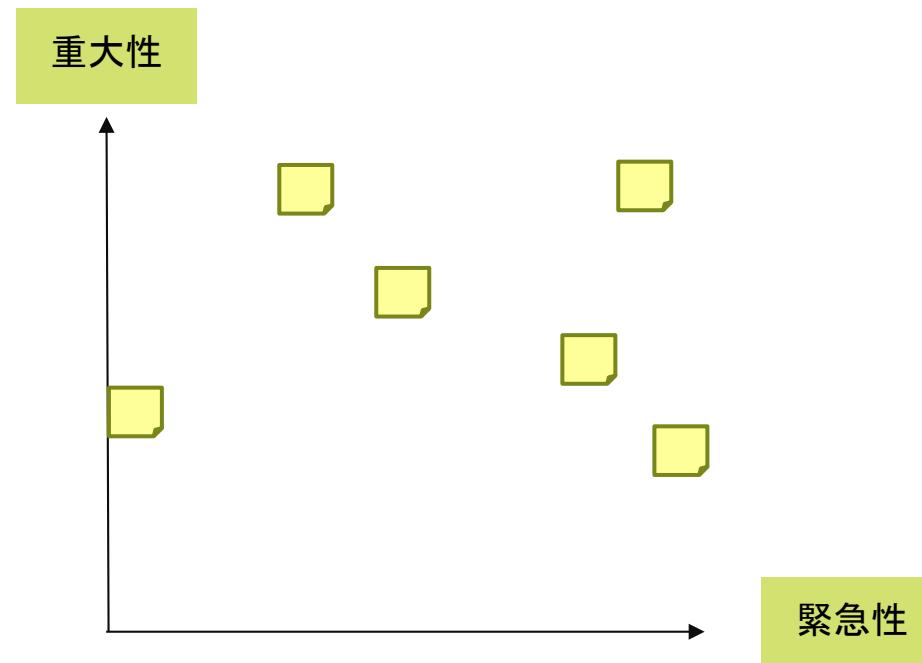
交通麻痺の
発生

沿岸域が居
住不可

課題③ (10分間)

課題②で出された気候変動影響の重大性と緊急性を整理する

- グループ内で議論しながら整理する (10分)



STEP 4 影響評価の実施

気候変動影響評価報告書（2020年）における「重大性」「緊急性」「確信度」の評価の考え方について

重大性	<p>社会、経済、環境の3つの観点で評価する。</p> <p>1.社会（人命の損失や健康面への負荷の程度等、地域社会への影響の程度等、文化的資産やコミュニティサービスへの影響の程度等）</p> <p>2.経済（経済的損失の程度等）</p> <p>3.環境（環境・生態系機能の損失の程度等）</p> <ul style="list-style-type: none">・特に重大な影響が認められる・影響が認められる・現状では評価できない
緊急性	<p>影響の発現時期や適応の着手・重要な意思決定が必要な時期の観点で評価する。</p> <p>影響の発現時期については</p> <ul style="list-style-type: none">・高い…既に影響が生じている。・中程度…21世紀中頃までに影響が生じる可能性が高い。・低い…影響が生じるのは21世紀中頃より先の可能性が高い。 または不確実性が極めて大きい・現状では評価できない…現状では評価が困難なケース
確信度	<p>IPCC第5次評価報告書の確信度の考え方を準用。証拠となる研究・報告の質や量、見解の一貫性の2つの観点を用いて評価する。</p> <ul style="list-style-type: none">・高い…IPCCの確信度の「高い」以上に相当する。・中程度…IPCCの確信度の「中程度」に相当する。・低い…IPCCの確信度の「低い」以下に相当する。・現状では評価できない…現状では評価が困難なケース

課題④ (20分間)

課題③で整理した影響について適応策、施策を考える

- ・1つの影響を選び、対策を各自みどりの付箋に記入
→迷ったら、重大性・緊急性の大きい影響を
- ・対策を市町村が実施可能な施策を各自あお付箋に記入（上記と合わせて10分）
- ・一人ずつ発表（5分）
- ・意見をまとめる時間（5分）

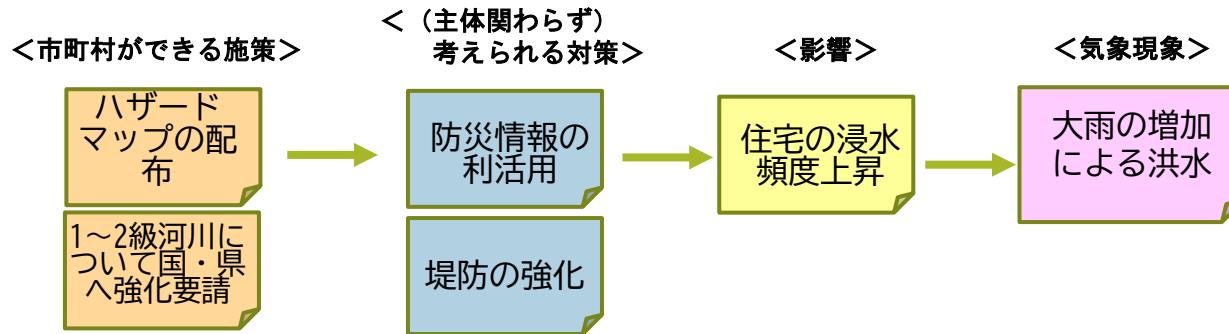


発表（2分/グループ）

＜発表の仕方＞

下記の順番で説明をお願いします。

→なぜこの施策が必要なのか、何に役立つのか



※発表に対して別グループからのコメント（1分）
をいただきます。